



東原小学校キャラクター  
「かめっち」

# CS 便り



第6号 令和8年2月25日号

いよいよ3月に入ります。3月4日には「6年生を送る会」があります。全校で集う最後の機会です。お互いに感謝の気持ちを伝え合う温かい会にしていきたいと思えます。

## ～東原小学校応援隊の活動の様子～

6年生は、家庭科でリメイク作品に挑戦しました。使わなくなったTシャツ、ジーパン、シャツなどを持ち寄り、使える物に作り替える活動です。バッグ、クッション、ポーチなど、作りたいものはそれぞれです。

みんなが同じ物を作るときでも、教員は手が足りないのですが、各自が違う物を作るときは、一人一人が違う作業をするので、さらに大変です。使わなくなった物のどの部分を切るのか？どんなふうにしたいのか？が各自違ってきます。子どもたちは、Tシャツなどを広げて、しばらくじーっと見つめて考えています。

コミスク応援隊のみなさんは、子どもたちのやりたいことを聞きながら、一緒に考えたりアドバイスをしたりしてくださいます。「なるべく手を出さずに、困っているときに支援する」ことを応援隊のみなさんと共有してくださっているとのことで、大変有難く思っています。



## ～東原小学校応援隊の活動を振り返って～

応援隊の学習・活動支援やクリーン作戦で、大変お世話になりました。ご支援いただく場は、子どもたちと地域の方々のつながる大切な場だと思います。

お世話になるばかりではありますが、子どもたちと過ごす中で、「やりがい」を感じていただけるような雰囲気作りをすることが私たちにできることかと思えます。2年生がさつまいも作りでお世話になった応援隊の方々と一緒にさつまいもチップを食べたい！とお招きしたように、支援していただいた成果をお見せする機会（発表会など）を作ることも今後の課題です。

応援隊の方々の「自分でできることは手を出さずに見守る」という考え方を教員側も大切に、時間がない中でも可能な限り、「子どもたちが自分たちでできることは自分たちの手でやること」を念頭に置きながら、学習活動を進めていきたいと思えます。